

いなからプロジェクト 第2弾

弥生ヶ丘高校生からグッズ製作の市長提案

伊那市では、ひとり一人の暮らしと生きがい、地域を共につくる取り組みとして、新たに「いなからプロジェクト」を始動しました。このプロジェクトは、地域がつながり、いきいき誰もが活躍できる機会、共に暮らすまちづくりの実現のため、イーナちゃんグッズ製作をとおして、それぞれができることを考え、意識の醸成を図ることを目的にしています。

第2弾では、「高校生とつくるグッズ製作」に取り組み、その成果を高校生から市長へ提案します。

- | | |
|--------|--|
| 1 開催日時 | 令和6年3月8日(金) 10時から10時45分 |
| 2 会場 | 市役所4階 応接室 |
| 3 内容 | 弥生ヶ丘高校1年の生の探究学習に携わり、高校生と一緒にイーナちゃんグッズ(エコバック)のデザインの検討、PR動画制作を行いました。活動の報告と、高校生が考案したデザイン案を市長へ提案しグッズにします。 |
| 4 参加者 | 弥生ヶ丘高等学校 1年生
探究学習においてまちづくりコースに参加していた30名のうち、デザイン案を考案した4名 |
| 5 添付資料 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

[本件に関するお問い合わせ先](#)

**令和5年度
いなからプロジェクト 第2弾
弥生ヶ丘高校生からグッズ製作の市長提案**

弥生ヶ丘高校の1年生の探究学習に地域創造課が地域アドバイザーとして携わり、イーナちゃんグッズ(エコバック)のデザイン案の検討、伊那市のPR動画制作を行いました。グッズ製作に関心がある30名が参加し、5グループに分かれ、活動を行いました。

4デザインを考案し、高校生たちがグッズ化したいものを市長へ提案します。

開催日時：令和6年3月8日(金) 10時から10時45分

参加者：弥生ヶ丘高等学校 1年生 まちづくりコース参加者 4名 養護教諭引率

目的：取り組んできた高校生の思いを知り、グッズに採用する。

高校生にとっては、自分たちが取り組んできたことの発表の機会となり、考案したものがグッズになることは、喜び、達成感が得られる。

このようなチャレンジの機会があることは、シビックプライドの醸成につながっていく。

進め方：

- 1 いなからプロジェクトの取り組み説明
第2弾 高校生とエコバック制作 ～高校生の視点でまちを再発見～
- 2 高校生からのプレゼン
デザイン候補案を考えたグループから
制作動画の視聴
- 3 質問
2に追加して、取り組みについて質問し、参加高校生から答えてもらう
- 4 意見交換
市長と高校生で意見交換

担当 伊那市 企画部地域創造課 地域振興係 (内線：2251)

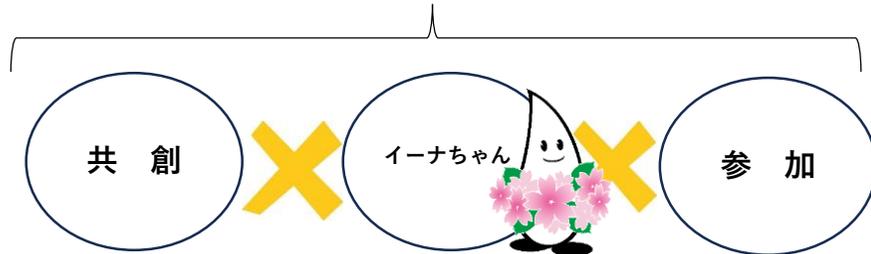
いなからプロジェクト

生きがい、多様な参加ができる地域を
ともにつくる取組

コンセプト

地域がつながり、いきいき誰もが活躍できる機会、共に暮らすまちづくりの実現のため、イーナちゃんグッズ製作をとおして、それぞれができることを考え、意識の醸成を図る。

地域共生社会



プロジェクト名

いなから

PROJECTS

いなからプロジェクトは、3つの意味を含んでいます。

- 伊那から…「地域共生」の取り組みを“伊那から”発信していく。
- なから …方言の「なから」はだいたい、おおよその意味。地域共生プロジェクトが考えた伊那市の目指す姿が「なから伊那暮らし」。いい塩梅やいい距離感＝「なから感」が大切
- カラフル…ひとり一人が様々な色を持つ存在であり、それがグラデーションとなりかたち作っている。

取組概要

第2弾：高校生つくるグッズ製作

～高校生の視点でまちを再発見～

■趣旨

高校生がまず自分が過ごす学校、地域を知ること、関心を持つ、また、まちづくりを身近なことと結び付けるきっかけとする。

■具体的な流れ

弥生ヶ丘高校の1年生「総合的探究の時間」を使い、活動する。

高校生が「かっこいい」、「かわいい」、「きれい」をどんなことから感じるか深掘りをし、その視点で景色の写真を撮り、PRの動画製作。

また、各自が伊那市の魅力を考え、エコバックのデザインを考案し、その後、製作。

■効果

高校生が「地域」に関心を持ち、自分次第でまちの見え方が変わること気が付く。

弥生1年生の探究学習 (×郷土愛プロジェクト) ! OODA-OODA !

VOUCA (変わり動いて、不確実で、複雑であいまいな時代) を生きるために必要な力
! OODA (よく聞いて、データを集めて理解して、判断して、動く) !

授業のねらい:

(地域) 社会で活躍するさまざまな業種・職種のオトナたちがどのように(地域) 社会と向き合い、何を「探究」しようとしているのか学び、身近な地域課題・活動を見出す。

自身と社会(地域・正解)との関わりのあり方を考える。

内 容: 1年生は10コースある中から、自分が関心があるものを1つ選び参加。地域創造課では、まちづくりをテーマにし、高校生とイーナちゃんグッズの考案、PR動画の制作。1学年198名のうち、30名が参加し、5グループに分かれ、活動。



- 山の見方、風景の見方 (こんなにもきれいなんだと…)
- ない…ただ、伊那の魅力を再発見した!
- 近くの魅力 • 伊那市の印象
- イーナちゃんの固定概念にとらわれなくなった
- 人と協力する楽しさ • 友達増えた!
- すごい自由に考えられるように
- 伝え方を考える • よく考える
- 色々な物を見る角度や考え方が変わった…?

日 程	活 動 内 容
10月12日	グループ立ち上げ
10月26日	まち歩きの前準備
11月2日	探究アクティビティ① グループごとにまち歩き (創造館 伊那まち・1966展見学後、市駅周辺を散策)
11月9日	まち歩きの振り返りと準備 エコバック、動画制作に向けて、各グループで何をするか 考え、準備
11月16日	探究アクティビティ② エコバックのデザイン検討、PR動画制作
11月30日	制作の続き
12月14日	制作の続き
1月11日	探究アクティビティ③ エコバックの制作 探究の時間の振り返り

